

経営比較分析表（平成30年度決算）

長野県 長和町

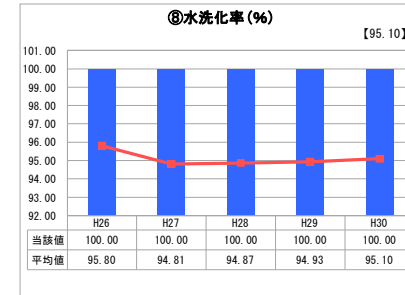
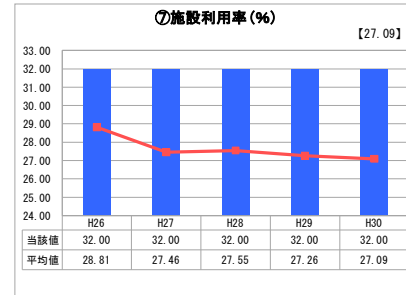
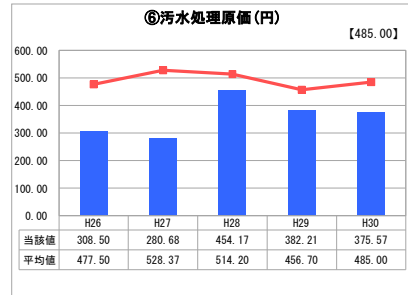
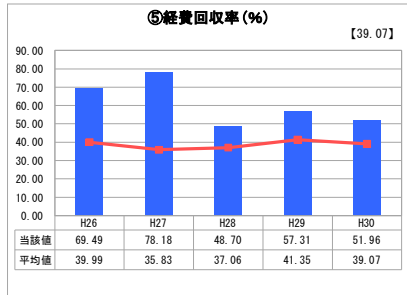
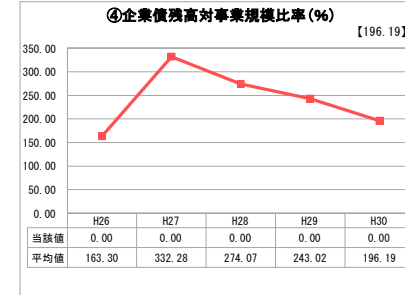
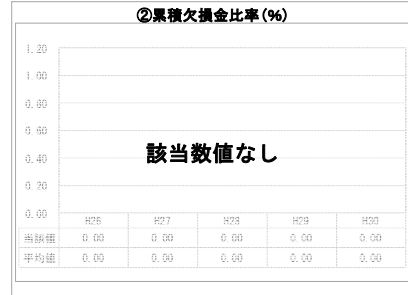
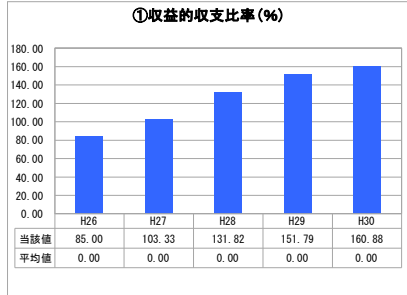
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	簡易排水	J2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ [※] 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	1.02	100.00	3,672

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
6,124	183.86	33.31
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
62	0.03	2,066.67

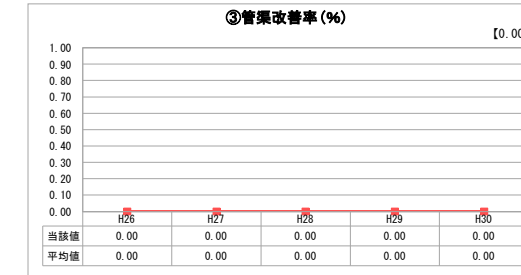
グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

処理施設の大きな故障や修繕がなく、主な数値については、類似団体の平均を上回っています。しかし、H28年度以降小規模な修繕を定期的に行っているため、経費回収率の低下及び汚水処理原価が上昇しております。

また、収益的収支比率は100%を超えています。が、経費回収率は、50%前後を推移しており、使用料の収入だけでは、維持管理費や地方債償還金が賅えず、一般会計からの繰入金に依存しているのが現状です。

簡易排水事業は、事業規模が小さく、水洗化率が100%であり、これ以上の料金収入の増加が見込めないため、維持管理費用の削減等による汚水処理費の抑制に努めています。

※H31年度からの企業会計移行により、H31年3月末で打ち切り決算を行いました。このため、使用料収入が減少しており、H29年度以前との比較は参考程度となります。

2. 老朽化の状況について

滝ノ沢処理場、小茂ヶ谷処理場の2処理場を有しており、ここ数年は大きな故障もなく、安定した処理を続けています。

全体総括

大規模な改修が行えないため、計画的な修繕や処理費用の削減を行うなど、適切な維持管理が重要となります。また、人口減少が進んでいくと考えられるため、施設規模の見直しや統廃合を検討していきます。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。